

平成17年 8月 30日

内閣府沖縄総合事務局  
開発建設部  
部長 佐藤 浩孝 殿

美ら島を創る市民の会  
会長 西田 健次郎



中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成について（要請）

晩夏の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より沖縄市の振興発展に係る行政運営につきましては、格別なる御高配を賜り心より感謝申し上げます。

中城湾港泡瀬地区埋立事業は、国土交通省、内閣府及び沖縄県のご尽力により、平成14年10月に本格的海上工事に着手されました。この事業によって創出される180haあまりの人工島は、美しい砂浜をはじめ自然に近い海岸線を有する美ら島として、海や干潟といった豊かな自然環境や地域の伝統・文化を生かした観光・レクリエーションの拠点となるものです。この美ら島を舞台に地域内外の人々の交流が生まれ、新たな雇用機会を生み、そして地域の活性化に繋がっていく、20年あまりもからの構想がようやく実現に向けて動き出しているということで、地元市民としては事業の早期完成に大きな期待を寄せているところであります。

こうした状況の中、美ら島を創る市民の会は、同事業を推進する市民運動の構築を図るため、かねてより宣伝活動や市民フォーラム、美ら島祭り等を開催し、地域住民の支援をバックに、事業推進に向けた様々な運動を牽引しているところであります。

一方、同事業の推進については、現在、残念ながら一部団体による反対運動があります。しかしながら、これら運動は、上述したような事業の意義や、これまで地元市民の手によって形作られてきた事業着手までの長い経緯を無視した、バランスを欠いた一方的な主張と言わざるを得ません。私たちが見るところ、事業者は環境保全に最大限の注意と努力を払って事業を進めています。例えば、トカゲハゼの生育過程に配慮して工事の休止期間を設けています。また、工事に際して日々周辺環境をモニタリングされ、これらをきちんと有識者による委員会に報告、意見を聴き、慎重かつ丁寧な対応をして頂いています。自然環境の保全に万全を尽くしながら事業を進められていることに、地元市民として満足し敬意を表しているところであります。

当該事業は市民総意のもと長年にわたり強力に推進してきた沖縄本島中部圏域にとっての一大プロジェクトであります。関係者におかれましては、一部団体による主張に臆することなく、引き続き自信をもって事業を推進していただきますよう、そして、中部圏、ひいては沖縄県の活性化に貢献する当該事業の早期完成が図られることを強く要請するものであります。

泡期第 64 号

平成 17 年 8 月 30 日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部長

佐藤 浩孝 殿

泡瀬復興期成

会長 當眞 哲雄



中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成について (要請)

晩夏の候、貴職におかれましてはますますご清祥こととお喜び申し上げます。  
平素より沖縄市の振興発展に係る行政運営につきましては、格別なるご高配を賜り心より感謝申し上げます。

さて、泡瀬が島であった頃より、海からの恵みを受けながらも、潮害に苦しみ、その克服のため苦役と努力を惜しまなかつた先人たちは沖縄県中部でも屈指の街を作り上げました。しかし、太平洋戦争で灰燼と帰しました。

ふるさと泡瀬を復興させ、かつての繁栄を取り戻すため泡瀬人は努力を重ねてきました。今では街としての機能が充実し、人口が集積し、かつての繁栄を凌駕するに至りました。人口の増加は海への負担を大きくしています。かつて泡瀬周辺には湿地があり、その湿地は陸水浄化の役割を担っていました。泡瀬沖合いに島が出来れば、島との間に陸水の浄化の役目を持たせ、健全な泡瀬干潟を再生させたい。との強い思いがあります。

中城湾港泡瀬地区埋立事業は、国土交通省、内閣府及び沖縄県のご尽力により平成 14 年 10 月に本格的海上工事に着手されました。この事業によって創出される 180ha あまりの人工島は、美しい砂浜を有し、自然に近い海岸線をもった美ら島として、海や干潟といった豊かな自然環境や地域伝統・文化を生かした地域づくりの拠点となるものです。この島を舞台に地域内外の人々の交流が盛んとなり、それが新たな雇用機会を生み、そして地域の活性化に繋がっていくものとして、20 年余り前から議論を戦わせた形作ってきた構想がようやく実現に向けて動き出し、地元市民として事業の完成に大きな期待を寄せているところであります。

同事業については、現在、残念ながら一部団体による反対運動がありますが、私たちは海草藻類等多様な生態系へ配慮しての（トカゲハゼの生活圏に配慮した休止期間には疑問を感じますが）工事開始を地元市民として歓迎しているところであります。また、今年度の工事開始に当たっては、地元の要望にこたえた説明会の開催にも感謝しているところであります。工事に実施に当たって環境への配慮も十分に納得できるものであります。

このように当該事業は市民総意のもと長年にわたり強力で推進してきた一大プロジェクトでありますので、関係者におかれましては、引き続き自信をもって事業を進め、中部圏、ひいては沖縄県の活性化に貢献する当該事業の早期完成が図られることを強く要望するものであります。

平成 17 年 8 月 30 日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部長

佐藤 浩孝 殿

プライド泡瀬  
会長 當眞 勲



中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成について（要請）

晩夏の候、貴職におかれましてはますますご清祥こととお喜び申し上げます。

平素より沖縄の振興発展について、格別なるご高配を賜り心より感謝申し上げます。

さて、「プライド泡瀬」は泡瀬復興期成会の友誼団体「ビジュル会」「沖縄市東部・周辺開発研究会」を前身として、泡瀬の地元住民を中心に結成されました。約百名の会員を擁しております。

沖縄市の東部海浜開発が干潟を埋める陸続きの計画に対し、泡瀬復興期成会が猛烈に反発し、計画が硬直した時期がありました。その打開策として「ビジュル会」が“「沖縄市東部海浜地区開発」人工島リゾート構想提案”を平成 2 年 3 月 3 日に行っております。その提案を沖縄市が受け入れた結果泡瀬復興期成会は推進団体として今日に至っております。

太平洋戦争で泡瀬は灰燼と帰し、土地は米軍が接收し、飛行場建設や通信施設のため海没地が出るなど人工的な改変が行われました。帰る土地として泡瀬の内海の埋立を實現し、これが泡瀬復興の始まりとなり、返還軍用地の区画整理事業に取り組み、周辺では比屋根区画整理事業、渡口区画整理事業が行われ、海邦国体主会場の沖縄県総合運動公園が整備されました。今や、人口の急増地域となり、泡瀬干潟はかつて塩田を行えるほどのきれいな海であったが見る影もありません。泡瀬沖合いに島が出来れば、島との間に陸水の浄化の役目を持たせ、健全な泡瀬干潟を再生させたい。と願うのが私たちの気持ちです。

中城湾港泡瀬地区埋立事業によって創出される 180ha あまりの人工島は、美しい砂浜を有し、豊かな海や干潟に囲まれた美しい島として、地域の伝統や文化、豊かな自然を生かした新たな街づくり、地域づくりにとって欠かせない土地であり、観光やレクリエーションを主体とした人々の交流を育み、また新たな雇用を機会を創出している貴重な空間です。地元市民として事業の早期完成に大きな期待を寄せているところであります。

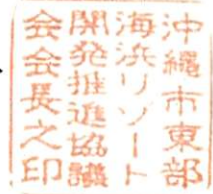
同事業については、現在、残念ながら一部団体による反対運動がありますが、私たちは、海藻草類等多様な生態系への配慮しての（トカゲハゼの生活圏に配慮した休止期間には疑問を感じますが）工事開始を地元市民として歓迎しているところであります。また、今年度工事開始に当たっては、地元の要望に応えた説明会の開催にも感謝しているところであります。工事の実施に当たっての環境への配慮も十分に納得できるものであります。

当該事業は市民総意のもと長年にわたり強力に推進してきた一大プロジェクトであります。関係者におかれましては、一部団体による主張に臆することなく、引き続き自信をもって事業を進められ、中部圏、ひいては沖縄県の活性化に貢献する当該事業の早期完成が図られる事を強く要請するものであります。

沖東推協第 12号  
平成17年 8月 30日

内閣府沖縄総合事務局  
開発建設部  
部長 佐藤 浩孝 殿

沖縄市東部海浜リゾート開発  
推進協議会  
会長 比屋根 清一



中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成について (要請)

晩夏の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素より沖縄市の振興発展に係る行政運営につきましては、格別なる御高配を賜り心より感謝申し上げます。

中城湾港泡瀬地区埋立事業は、国土交通省、内閣府及び沖縄県のご尽力により平成14年10月に本格的海上工事に着手されました。この事業によって創出される180haあまりの土地は、美しい砂浜を有し、豊かな海や干潟に囲まれた美しい島として、地域の伝統や文化、豊かな自然を生かした新たなまちづくり、地域づくりにとって欠かせない土地となります。ご承知のとおり、沖縄市は人口増加を続ける一方で、地域の経済状況は年を追うごとに悪化の傾向をたどっています。次世代を担う若者たちのためにも何としても社会・経済活動の活性化を図っていかねばなりません。新しくできる島は、観光やレクリエーションを主体とした人々の交流を育み、また新たな雇用機会を創出していける貴重な空間です。さらに同事業は、隣接する中城湾港新港地区の利用を促進し、また新たな産業の核となるFTZ（特別自由貿易地域）への企業誘致を促進することにもつながります。これらが一体的に推進されれば、沖縄本島中部圏域に極めて大きな社会・経済的な効果がもたらされることとなり、地元企業あるいは一般市民として事業の早期完成に大きな期待を寄せているところであります。

同事業の推進については、一部団体による反対運動がありますが、私たちが見るところ、同事業は海草藻類をはじめとする多様な生態系に配慮しながら、環境保全に最大限の注意と努力を払って進められており、トカゲハゼに配慮した休止期間を経てのこのたびの工事開始を地元市民として歓迎しているところであります。

当該事業は市民総意のもと長年にわたり強力に推進してきた沖縄本島中部圏域にとっての一大プロジェクトであります。関係者におかれましては、引き続き自信をもって事業を進められ、中部圏、ひいては沖縄県の活性化に貢献する当該事業の早期完成が図られることを強く要請するものであります。